

- ・コラム (杉浦 良)
- ・お知らせ (県内作業所交流会、環境ボランティア交流会)
- ・30年の歩み①
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

# かわら版

160号/2014 ▶ 30th Since 1984

「温故知新」

杉浦 良

今から20年も前の話です。「・・・いままで地域共同作業所以外の、たとえば社会福祉法人の通所授産施設や通所更生施設、収容授産施設、収容更生施設との関係を扱っておりませんでした。私は障害者地域共同作業所が地域の中でもっと充実され、作業所ではなかなか対応の難しいメンバーについては、専門家のおられる通所授産施設や通所更生施設の利用を、そこで力をつけたメンバーについてはもう一度作業所で頑張ってみる、グループホームでの対応が難しいメンバーは収容更生施設を利用する・・・、収容更生施設はショートステイの充実をはかって地域を支えていく。そこで力がついたメンバーについてはグループホームに移行するというような、対流するシステムなり循環するシステムが必要と思います。当然ながら、作業所で力をつけたメンバーは一般就労に挑戦し、だめならば、また戻ってくるということです。その人なりの足で立てる道を一人一人が模索できることが、地域の中でその人らしく生きられる社会への必要条件だと考えますが、いかがなものでしょう。



写真で見る30年①

昭和59年8月、太陽と緑の会の福祉リサイクル活動がスタートしました。(徳島市入田町月ノ宮)

ただここできちっとご理解いただきたいのは、地域共同作業所への公的助成は徳島県では年間一人に平均すれば約4、50万円ほどです。通所授産施設では一人約230万円、収容施設では350万円ほど使われ、公立公営になると800万円ほど助成されます。・・・ですから4、5百円のホカホカ弁当のお金しか頂いていないのに、2千3百円の懐石弁当が食べたいと言われても、難しいわけです。ただ4、5百円の弁当にしては、これは千円の価値が充分あると感じられたら、そこは大変な努力をされていることになります。逆に2千3百円の弁当が、千円のお弁当よりマズければ絶対に売れないし、成り立たないわけです。同じ程度の障害で、同じ困難さを抱えたメンバー達には、同じコストをかけることが、法もとの平等であるはずですが、その点を充分ご理解いただき、障害者地域共同作業所がある時は叱咤し、あるときは激励していただければ有り難いと思います。時間も参りました。至らぬ話に、ご清聴いただき有難うございました。これをもって終わりとさせていただきます。」

1時間半ほどの講演の最後に、こんな事を話しました。当時「法定外」とか「無認可」とか言われた地域共同作業所は、1960年代から産声をあげ、都道府県からの補助金を受けることで徐々に数を増やしなが、2003年には全国で6000ヶ所を超える数になりました。全国一律の法定内施設と言われた授産施設、更生施設などと、都道府県により大きく補助金が違う法定外施設のダブルスタンダードの障害者福祉が障害者自立支援法まで続くわけです。ただ皮肉なことに、福祉先進国といわれる国からの関心は、地域に根差し、障害種別にとらわれず、小回りが利き、それぞれの作業所の特色を生かし、費用対効果の高い、努力と工夫をされている作業所に向けられました。

2006年10月に完全施行された障害者自立支援法以後、10人以上の地域共同作業

所の多くは、NPO法人を取得し地域活動支援センターに移行しました。作業所から地域活動支援センターに移行することで、年間470万円（徳島では）の補助金に機能強化事業費として150万円が加算されました。ただ各障害者団体を通じて作業所に支給された110万円（全体の半分以下にしか支給されていなかったが）がなくなりました。その後、公的助成が厚くなる定員20人の自立支援給付事業になるところが増えました。ただ月ごとでカウントされた1人に対する公的資金が一日ごとのカウントになり、毎日確実に来られるメンバーの確保が優先課題となりました。



イラスト  
宇津君

現在障害者自立支援法は廃止され、2013年4月より障害者総合支援法が施行されました。1995年に精神保健に福祉が加わり、障害種別に身体、知的以外に精神のエリアが追加されました。そして3障害バラバラだった福祉施策が自立支援法により統合され、総合支援法では対象エリアに難病者が加わりました。

ダブルスタンダードだった障害者福祉が、一見統合され問題が解消されたように思えますが、現在、自立支援給付事業所となったのは6千ヶ所のうち3分の1強です。相変わらずダブルスタンダードの現実がそこにあります。しかし忘れてはいけないのは、福祉先進国と言われた国々が、法内施設ではなく法定外施設の、費用対効果が高く、地域に根差し、小回りが利き、それぞれの特色を生かしている作業所に注目したことです。日本より早く成熟し、福祉国家となったその次の指針に、日本の作業所の在り方が刺激的だったのではと内心思っていますが、いかがでしょう。

# お知らせ

## 県内作業所の交流会

12月15日、泉鳴門市長さん来賓のもと、第11回ふれあいフェスティバルが鳴門市老人福祉センターで開催されました。徳島県内の障害者地域共同作業所や地域活動支援センター、障害者福祉サービス事業所等が、それぞれ実行委員会をつくり、毎年行ってきました。

第1回・旧相生町日野谷小学校体育館、第2回・加茂名南小学校体育館、第3回・旧市場町総合福祉センター、第4回・鳴門市老人福祉センター、第5回・小松島市ふれあいセンター立江、第6回・徳島市障害者交流プラザ、第7回・徳島市障害者交流プラザ、第8回・那賀町B&G海洋センター体育館、第9回鴨島体育館、第10回・那賀川社会福祉会館と、県内各地で開催されました。

「地域に家から通える作業所を」と無認可と呼ばれながらも、ゼロから立ち上げてこられた所ばかりです。様々なハンディーを持ったメンバーたちの交流の場として、成人式、メンバーの発言コーナー、クイズや出し物など、メンバーたちが中心の手作りフェスティバルです。毎年250名ほどの参加者があり、手作りでメンバーたちが生き生きし、運営主体や障がい領域が違いながらも横につながる、全国でも珍しいものです。

「支援センターあなん」のミュージカル、「ほっとハウス」のダンス・手話コーラス、「やまもも」すだち連の阿波踊りはユニークです。

太陽と緑の会リサイクル作業所として、米田君の詩集「増元」と朗読CD「翔元」の販売と、朗読もさせて頂きました。実行委員会の皆様ご苦労様でした。S君とN君はビンゴゲームで賞品をもらい、米田君はじゃんけん大会で優勝し「東部支援センターちゅうりっぷ」の豪華景品をゲットしました。

## メンバーの活動紹介

全国37局で放送されているラジオ番組「歌のない歌謡曲」で、太陽と緑の会リサイクル作業所メンバー、米田さんのエッセイ集「衣心」を紹介して頂きました。

オフコースのメロディをバックに、四国放送の山田隆子アナのさわやかなナレーションで、エッセイの一節が流れ、ラジオの良さを改めて感じさせて頂きました。

本当にありがたいことと思います。

### エッセイ集「衣心」

1冊 200円

地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所で販売しております。



C-1とバレンタインのチョコレートの  
※糸会は今年はX-C-2が美保基地  
へ配備される事でかきおた「未定」おもい  
ついでにかきました。自分※はX-C-2  
は「オジロツの航空兵」とゆうたほうが  
いいと思います。

文・イラスト 藤田さん



## 環境ボランティア交流会

2月9日、第10回環境ボランティア交流会が徳島市国府町にて開催、太陽と緑の会からスタッフ3名、様々なハンディを持ったメンバー8名が参加しました。(板野支援学校から実習に来ている木川君も参加)

10時30分より12時まで、鮎喰川左岸の河川敷の清掃活動。当会でも毎年5月にクリーンアップを行っていますが、今回はそれより少し南のエリアで行いました。

午後からは、徳島市農村環境改善センターに場所を移し、活動報告、マイバッグガールズによる環境ミニライブがありました。

## 体験実習・見学

12月26日午後1時、四国学院大学社会福祉学部より、富島教授及び3年生10名、4年生1名の皆様が、太陽と緑の会に来所見学。

1月24日、25日、10時~16時、三浦さん(徳島県在住)が、「福祉職場体験」として、太陽と緑の会の活動に参加。

1月26日午後3時~7時、徳島大学医学部(看護学専攻)1年生3名の皆様が、NPO法人太陽と緑の会にてボランティア体験。

2月7日、午前10時~午後3時、国府中学校2年生4名が、太陽と緑の会リサイクル作業所にて職場体験実習。



写真で見る30年②  
福祉リサイクル活動の草創期。作業所の建物は豚舎を転用したものでした(徳島市入田町月ノ宮)

# 30年の歩み PART I

昭和46年4月 近藤文雄が太陽と緑の会を設立。筋ジス研究所の設立を求め、25万人の署名を集める。

昭和59年8月 杉浦良が徳島市入田町月ノ宮の旧豚舎にて、福祉リサイクル活動を開始。徳島県初の小規模通所作業所を開所（昭和60年度まで公的助成ゼロ。昭和61年～平成元年 作業所全体で公的助成 年間130万円）

昭和59年12月 第1回目のリサイクル品バザー実施

昭和60年5月 常設店舗「スターダスト」オープン

昭和61年4月 作業所に水道を引く（それまではガソリンスタンドで水をポリタンクに入れて運んでいた）。

昭和61年7月 皆様のご支援で、旧市役所仮庁舎を徳島市国府町に移築し、事務局・作業所兼店舗とする

昭和63年4月 （社）日本青年奉仕協会より1年間ボランティア受入開始

昭和63年7月 機関誌かわら版創刊

平成2年4月 廃食油による手作り液体石鹸の製造販売開始

平成2年5月 故障した印刷機を回収で頂き、修理して機関誌印刷に使用開始

平成2年9月 日本青年奉仕協会との共催で夏期ワークキャンプ事業開始

平成3年4月 大阪釜が崎出会いの家へ初めて救援物資を発送

平成3年7月 廃食油の粉石けんリサイクル事業開始（大津市・マルダイ石鹸）

平成4年12月 事務局に太陽熱温水器設置

平成5年4月 取り壊す予定の木内工務店事務所兼倉庫を木内昭氏のご好意により徳島市入田町月ノ宮に移築し、障害者共同生活棟とする（公的助成ゼロ）

平成5年4月 徳島市資源ごみ奨励金を原資とした他団体等への助成事業を開始



写真で見る30年③

旧事務局・作業所兼店舗。旧市役所仮庁舎を移築・再利用。昭和61年7月使用開始（徳島市国府町南岩延）

# 当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2013年12月1日～2014年1月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

## ご寄付を下された皆様

福澤、栗若、笠井、匿名、林、渡辺、匿名、林 (郵便振替口座にご入金下さった皆様)  
大谷、松崎、益田、足立、桐生、匿名、西沢、巻島、永口、浜田、森

## 品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○田中、山本、溝田、坂東、細岡、川又、寺西、伊藤、辻森、鶴島、福田、太田、河野、鈴木、中畑、椎野、松村、吉田、伊川、みづほ保育園、(株)石川木材、柏木、西川、工藤、梶本、村川、久米川、ファミリーマート仲之町店、長谷、杉村、森口、金沢、西谷、増金、市川、福田、市江、岡山、田中たみ店、安芸、井上、和田、衣川、近藤、浜出、久保、りんりん、旭、黒島、大村、阿部、三宅、福本、富永、撫養、泉、富岡、竹原、植松、増田、佐藤、大柴、米沢、塩谷、鳴門屋、松永、笠井、谷、斉藤、島田、藤永、久次米、山根、下塚、富田、中元、矢木、濱口、川人、宮城、尾杉、渡辺、武市、細川、佐原、山崎、喜志、小川、森尾、高島、山田、津田、橋本、藤井、園田、雲財、水尾、小渡、岡本、チケット徳島、北条、浜田、岸、生田、橋本そば、古田、米田、斎木、田中、阿洲電気工事(株)、木下、高田、栗若、今津、藤田、川崎、内藤、工藤、鹿島、大櫛、堀内、楠根、采、川原、鬼頭、戎、川人、津川、多田、大東、吉川、柳生、浅見、藤村、近藤、松本、新田、光山、辻本、松浦、岸、斉藤、石田、桂、山上、サンルート徳島、友成、北畑、横川、岩崎、Dコム、八巻、ワークスタッフ、住友、平山、久岡、金田、遠藤、桜井、小出、尾上、武田、井上、萩原、岩本、美記、西良、領家、井口、山下、佐藤、大津、曾我部、渡辺、平野、わかくさ幼稚園、楠本、猪谷、佐々木、森根、三輪、長尾、梅津、杉本、栗谷、上浦、○鳴門市○篠原、足田、岡本、三木田、久龍、山北、大森、殿谷、宝来、吉谷、リサイクル山田、藤崎○松茂町○志津、藤岡、宮迫○石井町○坂東、藤中、芝、武富、伊藤、北村、矢田、西村、河野、戸上、富山○吉野川市○岡、中西、重清、名本、松崎、小松○藍住町○向井、森、高橋、阿部、林、谷崎、中野、熊本、中原、齋藤、西川○北島町○飯坂、山口、奥田、結城、原○板野町○大下、木村、阿部○阿南市○前田、森、天羽、宮生、中本、西脇、数藤○阿波市○辰巴、森本○上板町○岡谷○小松島市○大森、村戸、荒木

## 品物を持って来て下さった皆様 (郵送含む)

○徳島市○榎本、大下、堀江、杉浦、川人、早川、湯浅、坂東、林、原田、佐藤、後藤、鈴木、川田、富永、藤岡、柏木、米倉、多田、国見、市江、山下、梯、木元、坂野、長崎、三間、松本、高岡、浅川、田淵、永田、宮本、西山、イカリヤコーヒー店、武市、西岡、幸泉、梶田、田中、河野、立石、稲川、鎌田、姫野、高岡、藤川、中山、四国、藤崎、川崎、アリアンスフランスーズ徳島、石本、赤坂、大江、上田、岩城、樽井、前田、浅野、郷司、飯田、横山、川島、阿部、米崎、知野、高橋、森、近藤、横田、丸尾、楠、大西、和泉、植松、藤田、中平、川月、笹盛、岡田、榎本、佐賀、浜、小澤、折野、富尾、矢野、佐中、中津、河村、荒井、佐々木、日下、森岡、長尾、森本、前野、石川、東、吉野、幸田、鳴門教育大学特別支援学校、山本、笹島、柴山、岸田、美馬、藤原、谷口、早淵、笠井、中尾、瀧本、朴、友成、松野、伊澤、森脇、新居、下山、岡村、黒田、堀川、手城、森田、山西、助川、紙谷、織田、萩原、山口、村瀬、大出、上山、スティーブズ、西野、神原、井内、吉田、粒山、桐本、松浦、辻本、中山、やまもも、寺嶋、平山、中野、宮崎、三田、板東、北川、西川、安芸、竹中、加藤、芦田、南郷、西理、杉本、南本、渡辺、宮地、浜井、黒川、高塚、堀、第一病院、デイケア田代、白川、橋本、昭和婦人会、生田、清水、斎田、谷本、石村、前田、角、境、大島、中原、中村、丸山、川上、川風、生駒、豊田、津田、吉井、岩井、木内、梶本、阿部、友成、升山、春藤、松原、竹内、東條、矢部、横井、大和、スクマワン、三木、芝井、萬玉、久保、玉置、メリー、森、廣川、田尾、川尻、嶋田、堀金、西條、森久、阿地、曾本、谷村、尾関、岩佐、村田、斉藤、小寺、鎌田、飯島、太田、西崎、松岡、美馬、武市、鈴江、井上、秋月、松尾、本田、森田、遠藤、盛、安藤、谷、河原、山ノ井、播、栗田、中脇、吉永、真木野、滝口、川口、菊池、平野、大野、清田、升山、尾形、寺内、田村、梯、滝山、篠原、金澤、豊明保育園、新宅、一宮、高田、井川、以西、酒井、岡山、長尾、河田、宮脇、和田、脇谷、西尾、小林、杉内、中西、井原、桜井、尾畑、竹村、吉成、西本、三谷、岩瀬、中川、山城、南、大磯、石丸○石井町○筒井、本庄、久米、高木、松田、藤本、河野、金原、松下、宮浦、堀井、高橋、児島、池端、岡本、浅井、大久保、鎌田、関本、井阪、秋月、河村、遠藤、矢野、中村、井上、鈴江、森川、伊藤、武知、森、高田、福田、村本、佐々木、岡田、筒井○吉野川市○武本、大潮、田村、浅野、田中、住友、斉藤、松本、味戸、上岡、川村、福田、谷、日野、吉田、原田、後藤、大島、吉田、渡部○藍住町○朝波、落合、花木、岩谷、小笠原、高田、朝波、安芸、久米、山本、井上、寺内、藤本、高瀬、中尾、土井、高原、濱、中川、岡本、吉岡、犬伏、二宮○上板町○美馬、西崎、快樂、河野、笠井、安永、宮本○佐那河内村○彦上、山本○美馬市○大塚、森本、権田、丹羽、熊田○小松島市○岡崎、谷山、岡、湯浅、木村、小谷、島、宮田、寺田、谷、橋本、坂東○鳴門市○山田、前羽、大石、渡辺、山西、三木野、大塚、石丸、土井、中津、足田、濱、梶、富永、中筋、芝、笠井○板野町○楠本、山下、山口、稲垣、鎌田、水口、高橋、長尾、久米○阿南市○谷本、海老谷、友成、松浦、成松、松内、横田、一宮、保田、勝瀬、原田、佐野、上原、美馬、谷、岡田、金住、升山○神山町○宮城、植林○北島町○宮本、水本、岡本、内見、濱口、森久、佐川○美波町○郡○松茂町○中野、乾○阿波市○藤岡、三浦、渡辺、吉岡、北川、竹内、河野、笠井○海陽町○神沢○つるぎ町○上田○東み



よし町○田口、堀内○福岡県○永峰○愛媛県○濱田○山口県○安達○埼玉県○永峰、本田○兵庫県○服部  
○長野県○吉川○東京都○滝倉、三木○京都府○木村○香川県○松村、香川県隣保館連絡協議会○広島県  
○福澤

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。  
品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構  
ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の方  
のご協力を頂いております。また牛丼、ポテトサラダの差し入れをして下さった河野様、  
天然酵母パンなどの差し入れをして下さった柴田様にもこの場を借りてお礼申し上げ  
ます。頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の支援、ボランティア育成、  
他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

加入者名	特定非営利活動法人 太陽と緑の会	料金	備考
通信欄	<input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 準会員(機関誌購読のみ) どちらかに○をお付け下さい		機関誌 いつもありがとうございます。 楽しみにしております。 急に寒くなりました。 皆様も、体に気を付けて下さい。

太陽と緑の会	料金	備考
		いつも機関誌ありがとうございます。 寒いので手厚いお身体大切にしてください。

加入者名	特定非営利活動法人 太陽と緑の会	料金	備考
通信欄	<input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 準会員(機関誌購読のみ) どちらかに○をお付け下さい		思わぬ、出会いが衝撃的だった。伊藤さんポーズがよみがえってきて いつもかわら版を言葉させていたたびは、... (笑笑) なんて、ご主人だったんだらうか...と顔をおおいたのだから... 改めて 自らの欠かんと向き合う貴重な時間となっております。 日々の活動、本当にありがとうございます。

太陽と緑の会	料金	備考
		杉浦さんはじめみなさんの ご活動に 敬意を表します。 何かの一助になれば...

加入者名	特定非営利活動法人 太陽と緑の会	料金	備考
通信欄	<input type="checkbox"/> 正会員 <input checked="" type="checkbox"/> 準会員(機関誌購読のみ) + カンパ どちらかに○をお付け下さい		かわら版、いつもありがとうございます。 写真もたくさんあるの、活動の様子が より伝わります。なかなか再訪が できませんが、...応援します!!

活動法人 太陽と緑の会	料金	備考
		機関誌を通して勉強させて いただきまして、新年度も 応援致します。

加入者名	特定非営利活動法人 太陽と緑の会	料金	備考
通信欄	<input type="checkbox"/> 正会員 + 寄附 <input type="checkbox"/> 準会員(機関誌購読のみ) どちらかに○をお付け下さい		昨年は同志社大学社会福祉学会賞の 受賞おめでとうございます。 心からお祝い申し上げます。 「かわら版」もいつも拝読しております。

法人 太陽と緑の会	料金	備考
		無沙汰しており、 いつもかわら版で皆様と 似た向きで地道な活動に 拝読しております。 これからもさらにの新しい 致し。

加入者名	特定非営利活動法人 太陽と緑の会	料金	備考
通信欄	<input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 準会員(機関誌購読のみ) どちらかに○をお付け下さい	120	継続は力なりです。 ご苦労が多いと存じます。 頑張っているの、やるご様子 にいつも感服致して おります。陰ながら 応援致しております。

		いつもかわら版ありがとうございます。 頑張ります。

会員の皆様からのメッセージ ここ半年間に頂いたものです

## 編集後記

### ～利用者も世話人もいない暮らし

2月3日午後8時より、太陽と緑の会月の宮共同生活棟で、メンバー、スタッフ、ボランティア30名参加のもと、新年会を行いました。

メニューは手巻き寿司とそば米汁。材料だけ購入して、準備から後片付けまで全員で行う、というスタイルです。その方が費用が安くて済む、ということもありますが、メンバーも作業に参加することに意味があります。

生活棟では、現在29才から64才までの3障害のメンバー4名が共同生活を行っています。この共同生活棟は障害者総合支援法上のいわゆる「グループホーム」ではないため、公的資金はゼロ、自己資金で運営しており、「利用者」も「世話人」もいません。

(制度上のグループホームであれば、公的資金を頂き、世話人を雇用し、利用者さんのお世話をします)

同居する職員2名を含めた6名は共同生活者という位置づけであり、炊事、食材の管理、洗濯から、台所・食堂・トイレ・風呂などの掃除、ごみの分別・処理など、生活に必要な作業を分担して行っています。

「できることは自分でやり、できないことは助け合っていく」というスタンスです。

共同生活棟がスタートして21年。ハンディを持ったメンバーに家事ができるのか、といぶかる方もおられるかもしれませんが、今の彼らは家事を親任せにしている健常者より上では?、と思わされることもしばしばです。

日頃は自宅から通所しているメンバーに、共同生活棟メンバーの実践を見て、体験してもらうこと。そこに新年会の意味があります。(文責・小山)

## NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

## 発行: 特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120

徳島県徳島市国府町南岩延107-1

TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)

088-642-1054 (リサイクル)

URL <http://www.t-midori.org/>

E-MAIL [t-midori@jeans.ocn.ne.jp](mailto:t-midori@jeans.ocn.ne.jp)

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎  
データ入力・製本・発送 岡田郁子 福住ヒサヨ  
宇津辰則 走川幸児  
年会費: 正会員1万円 準会員1,000円  
郵便振替口座: 01620-8-44703